

戦略の分類		しごとづくり (グローバルな経済活動の活性化)					
KPI 測定指標	区分	基準値	実績値 上段括弧書きは各年の目標値		目標	進捗度	
		H26	H27	H28	H31		
	従業者数 (公務除く)	23,483人	(23,520)	(23,570)		23,700人	平成28年度に実施した経済センサス基礎及び活動調査の速報が5月以降になる見込み
	石川県就業者に占める 能美市内就業者割合	3.95%	(3.97%)	(4.00%)			
		H29.5月以降			4.07%		
			H29.5月以降				
上記を達成するための 指標と達成状況		達成状況	施策ビジョン : 8指標 施策 : 25指標 目標以上 : 6指標 (18%) 目標通り : 12指標 (37%) 目標以下 : 6指標 (18%) データ取得不可 : 3指標 (9%) 未実施・準備期間中 : 6指標 (18%)				
総合評価	これまでの企業誘致の実績から、着実に企業数が増加し、雇用の確保が図られていることは満足できる。市民満足度調査から、理想的な子どもの人数を実現するために必要なことについて、安定的な仕事や収入が際立って最も多くなっており、今後も新たな新産業団地の確保を行い、さらなる雇用創出を図っていく。特産物の生産や繊維・鉄工業、伝統工芸九谷焼など、ものづくりを中心とした各産業の雇用拡大は厳しい状況にあるが、各種施策を推進し改善を図る。						

戦略の分類		ひとつなぎ (移住・交流を軸とした人と文化の対流と還流)					
KPI 測定指標	区分	基準値	実績値 上段括弧書きは各年の目標値		目標	進捗度	
		H26	H27	H28	H31		
	社会動態の増減 (直近5年間計)	+350人	(+170人)	(+340人)		+850人	目標通りに進捗
			+167人(単年)				
空き家バンク 登録件数	14件	(16件)	(18件)		25件	目標を下回る	
		8件					
地域ブランド調査 「魅力度」の順位	631位 (H27)	(455位)	(415位)		300位	目標を下回る	
		631位					
上記を達成するための 指標と達成状況		達成状況	施策ビジョン : 7指標 施策 : 26指標 目標以上 : 8指標 (24%) 目標通り : 5指標 (15%) 目標以下 : 11指標 (34%) データ取得不可 : 0指標 (--) 未実施・準備期間中 : 9指標 (27%)				
総合評価	合併以来、一つの目標であった人口5万人到達を平成28年に達成した。着実に人口増加の傾向にあることは満足できるが、今後、利用可能な宅地の減少が予想され、既存の宅地や住宅の利活用と創業支援による地域のイノベーション人材の育成と誘致を推進していく必要がある。空き家の利活用(居住)は、支援制度の充実はもとより関係団体や地域と連携した啓発活動を強化していく必要がある。観光分野では、核となる観光の拠点づくりや観光スポットをつなぐ仕組みづくりとマネジメント機能の確保、商品や施設そのものの魅力向上、体験交流と組み合わせたコト消費の促進などを推進し、交流から移住・定住への流れを強化していく。						

戦略の分類		ひとつづくり (出会い・出産・子育てのきめ細やかな支援)					
KPI 測定指標	区分	基準値	実績値 上段括弧書きは各年の目標値		目標	進捗度	
		H26	H27	H28	H31		
	合計特殊出生率 (単年)	1.665	(1.674)	(1.683)		1.71	平成29年4月に確定する見込み
			H29.4に確定				
0~4歳の人口	2,030人 (現状推移モデル でのH31推計値)	(2,204人)	(2,181人)		2,114人	目標通りに進捗	
		2,202人					
婚姻率 (人口千対)	4.2 (H25)	(4.24)	(4.28)		4.40%	平成29年4月に確定する見込み	
		H29.4に確定					
上記を達成するための 指標と達成状況		達成状況	施策ビジョン : 4指標 施策 : 19指標 目標以上 : 1指標 (4%) 目標通り : 14指標 (62%) 目標以下 : 0指標 (--) データ取得不可 : 1指標 (4%) 未実施・準備期間中 : 7指標 (30%)				
総合評価	地方創生総合戦略に先駆けて、安心して子どもを産み育て続けられる環境づくりのために各種施策を推進してきたことから、他の自治体よりも高いサービス水準にあり、平成26年の合計特殊出生率は全国や県よりも高い値を得ていることは満足できる。そして、27年度はさらに全国に先駆けて、子育て世代包括支援センター事業をスタートさせるなど、子育てに伴う不安と負担の軽減、家庭と仕事の両立支援に向けた情報発信、きめ細かな相談体制及び直接的な子育て支援を提供できた。今後は、ボランティア等の養成や団体等連携や制度周知を強化し、制度運用の安定化や普及等、施策の質向上に努めていく。						

戦略の分類		まちづくり (市民総活躍による暮らしやすさの追求)					
KPI 測定指標	区分	基準値	実績値 上段括弧書きは各年の目標値		目標	進捗度	
		H26	H27	H28	H31		
	生活拠点の形成数	-	(-)	(-)		2地域	都市計画マスタープランの地区別構想と連動させながら推進 (H29~)
市民満足度 (加重平均値)	0.38 (H27)	(-)	(0.40)		0.5 (H32)	隔年実施のため、平成27年度を基準とし、平成29年度の調査結果で評価	
社会貢献活動参加者数	3,807人 (H26)	(3,850)	(3,900)		4,200人	目標を上回る	
		3,868					
元気高齢者の人数 (要介護認定を受けていない人数)	10,196人 (H27)	(10,196)	(10,243)		10,385人	目標通りに進捗	
		10,196					
上記を達成するための 指標と達成状況		達成状況	施策ビジョン : 5指標 施策 : 28指標 目標以上 : 6指標 (18%) 目標通り : 13指標 (39%) 目標以下 : 2指標 (6%) データ取得不可 : 1指標 (3%) 未実施・準備期間中 : 11指標 (34%)				
総合評価	「ふるさと教育の推進」「移住・定住の促進」「空き家・空き地等の地域資源ストックの有効活用」については、目標以上の成果が出ている。「生活拠点の形成数」は、今後、都市計画マスタープランの地区別構想策定と連動させながら推進して行く。「社会貢献活動参加者数」は、平成26年の3,807人から27年は61人増加しているが、近年は登録数の増加が緩やかになっていることや、ボランティアグループのお世話役が不在で活動を休止してしまう人も出てきており、地域活動のポイント化など、地域の担い手を確保する効果が高い施策を選定し展開を進めていく。「元気高齢者の人数」については、高齢者全体の人数も増加しているが要介護認定を受けている人の増加は緩やかであり、見方を変えれば元気高齢者の割合は増えている。						

委員の意見の内容

○ KPIを順調にクリアしているものについては、それで良いが、うまくいっていないものについては、その原因をしっかりと分析して対応してほしい。

○ 全体としては順調だと思う。人材や予算など資源に限られていると思うので、メリハリある事業、優先度、重要度の意識した事業展開をしてほしい。

○ 指標に掲げた目標値と実績値を常に比較しながら、新たな課題、対応すべき問題を見つけ出してほしい。

○ 市民の声を的確に把握し、計画どおり推進すればいいの、中間で見直すことも大切だと思う。